**ジョシュア・タン（指揮）**

**JOSHUA TAN, Conductor**

シンガポール出身。ジュリアード音楽院を卒業後、中国国家大劇院管レジデント・コンダクター、シンガポール響アソシエイト•コンダクターを経て、シンガポール・ナショナル・ユース・オーケストラの首席指揮者を務めている。

2008年、ミトロプーロス国際指揮者コンクールで第２位を受賞し、カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニーなどへのデビューをきっかけに国際的な活動を展開。

マリインスキー劇場管、ボン・ベートーヴェン管、フランス国立ロワール管、シドニー響、メルボルン響、ニュージーランド響、香港フィル、台湾フィル、上海響、都響、東京フィル、神奈川フィル、札響などを指揮。デプリースト、デュトワ、ジンマン、マズアらに学び、T.トーマスやメッツマッハ―らのプロジェクトにも参加している。

オペラでは、《椿姫》、《リゴレット》、《ラインの黄金》、《さまよえるオランダ人》、《ローエングリン》、《カルメン》、《ドン・ジョヴァンニ》、《蝶々夫人》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《トゥーランドット》など多くの作品を指揮。2018年のバーンスタイン「ミサ曲」のシンガポール初演、翌年の《ドン・パスクワーレ》の指揮はStraits Times紙のベスト・クラシック・コンサートに選ばれた。